

総出願者数が、帰国生入試では2020年度668名・2021年度696名・2022年度709名・2023年度597名・2024年度445名へ、一般入試では2020年度1,633名・2021年度1,794名・2022年度2,084名・2023年度2,186名・2024年度2,087名へと推移しています。一般入試ではやや減少し、帰国生入試では出願資格の変更により大きく減少しました。また、募集定員を180名から195名に増やしましたので、実倍率も下がりました。

説明会・見学会に参加された受験生保護者の感想を以下に一部抜粋することで、本校の特徴をご紹介します。

・自由で生徒主体の校風が子供に合っていると思い、また時代の流れに沿った柔軟な学校のあり方に興味を持ちました。海外大学推薦制度や在学中の留学のしやすさも良いと思いました。

・見学会で出会った生徒さんがみんな、自由な学校と言っていました。心身ともに伸び伸びと成長するための安心安全の場だと思っています。この先の6年間、子供がどのように育って変化していくかを本当に楽しみにしています。

・自分の発想力や想像力を伸ばすことで将来やりたいことの幅を広げることが出来ると考えているため、御校の「色々な人と触れ合い、見つけた問いについての考えを交流しあうことで、自分の考え、周りの考えを豊かにしていく。」という方針が素晴らしいものだったからです。サイエンス科やプロジェクト科の授業などで、自分の発想を積極的に発言し、それに対して深く話し合うことを日常的に行うことで、友達と互いに自身を高め合える事を期待しています。

・いつも広報部 Instagram を楽しく拝見しています。他校にはない視点で情報発信してくださるのでありがたいです。笑ってしまうゆるい投稿やリアルな日常が投稿されていて、毎日投稿をチェックするのが日課となっています。

・広報部の先生方の「私たちは受験生の担任です」という言葉に助けられました。ありがとうございました。迷うことが多く、何をどうすれば、何をどう考えれば、どう決めればいいのか?となったときには特に質問できることがよかったです。頼れる先があるのは受験生の親にとってはとても安心感があると思います。毎日たくさん投稿されるインスタなどの Web 発信も多く、情報を取得、確認したい場合にはすぐわかりました。メールの返信も早かったです。

・他の学校よりも説明会や見学会の開催回数(ほぼ毎週開催)が多く、また毎日のように複数回投稿される Instagram を通して受験生への情報発信を積極的にされていて、先生や生徒さんが自然に受験生親子との距離感を積極的に詰めてくださっており、ホスピタリティーの高い学校であるというのが伝わってくる。

「受験生の担任」を自称した広報活動を通して、「熱烈なファン」が着実に増えている印象があります。総志願者数は前年比でやや減少でしたが、実受験率は上がっています。2科4科型入試は全4回ありますが、すべて受験して残念ながらすべて不合格だった受験生も年々増えていますので、入試広報担当として、苦しい思いもあります。

今年度の併願校(出願時任意入力による)は、以下の通りです。ここ数年、帰国生入試でも一般入試でもトップ5常連だった、開智日本橋学園との併願が減りました。また、本校は最近女子人気でもあり、その影響か、女子校の三輪田学園との併願が増えました。

帰国生入試:①三田国際学園②広尾学園③広尾学園小石川④渋谷教育学園幕張⑤青稜・東京都市大学等々カ

一般入試:①芝浦工業大学附属②三田国際学園③青稜④三輪田学園⑤目黒日本大学⑥安田学園

出願者の居住エリアについては、湾岸エリア(豊洲・新浦安・海浜幕張・品川・大井町・川崎・横浜など)が増えているとよく言われますが、実際は通学片道1時間ちょっとの在校生が多いです。

今年度も、塾関係者の校門での入試応援を自粛して頂きました。その代わりに、「応援メッセージボード」を設置し、各塾の応援ポスターを掲示させて頂きました。通塾している受験生親子は写真を撮るなどして喜んでいました。ご提供頂いた塾関係者のみなさま(6社)、ありがとうございました。また、入試当日の保護者ガイダンスでは、合唱部の応援合唱や、スクールカウンセラーより、合否結果の受け止め方、わが子への声のかけ方、リラックスするためのストレッチなどをお話ししました。例年その場で生まれる共感的なあたたかい雰囲気から、涙を流される保護者がいらっしやいます。この場に立ち会う我々教職員も、受験生とご家族の幸運を願わずにはられません。かえつ有明は、第一に受験生とご家族にとってあたたかく安心安全な場でありたいと思います。